

『武器としての国際人権』 著者に聞こう



世界から見た 日本のヒューマンライツ

11 / 12 日
2023
18:30~20:30
IN 那覇

会場

沖縄県立博物館・美術館 講堂（定員:210名）※事前申込不要

住所: 那覇市おもろまち3-1-1 ゆいレールおもろまち駅徒歩10分、
バス停県立博物館前徒歩5分 施設に駐車場158台分/駐輪場25台分あり

参加費

一般1000円 学生無料

講師

藤田早苗さん

エセックス大学人権センターフェロー。写真家。大阪府出身、英国在住。特定秘密保護法案、共謀罪法案を英訳して国連に通報し、その危険性を周知。2016年の国連特別報告者（表現の自由）日本調査実現に尽力。『武器としての国際人権』にて、2023年日隅一雄・情報流通促進奨励賞受賞。



内容紹介

国際社会から日本の人権はどう見えているの？
夏に行われたジャニーズ問題等への国連の調査って
どういう意味があるの？



・・・そんな疑問、ありませんか？
または、「人権なんて、何か遠い存在で自分にあまり関係ない」と感じてますか？ でも、実はとても具体的で身近なものなのです。
・・・人権分野のベストセラー『武器としての国際人権』の著者で、夏の国連による調査のサポートもしてきた英国在住の藤田氏が、動画や英国の例などを用いてわかりやすくお話しします。
ふるってご参加ください！

著書紹介

『武器としての国際人権』



本の紹介は
コチラ↓



著者を応援します

元山仁士郎さんより

人権問題の国連へのアプローチは、いま沖縄に必要な手段のひとつです。そのスペシャリストである藤田早苗さん。貴重な機会ですので、ぜひ足を運んでください。（「辺野古」県民投票の会元代表／一橋大学大学院法学研究科博士課程）

矢ヶ崎克馬さんより

「戦後政治の総決算」が政治課題となってきたこの国ではあらゆる局面で酷い人権侵害が生じています。市民が主権者として、人権感覚を鮮明にし、自らの人権を確保する営みを日常化する以外には改善することは出来ません。『「国際人権の基準で考える」講演会』に期待します。（避難者組織『つなごう命の会』会長、琉球大学名誉教授）

お問合せ

QRコードのメールアドレスまたはお電話にてお問合せ下さい

☎ 090-1216-8693 (渡辺)

【主催】藤田早苗さんを沖縄へ呼ぶ会

